

いもち病が多発生!!緊急防除をして下さい。

7月上旬以降、いもち病が発生しやすい条件が続いています。
今後の気象予報では、降水量が多く日照時間が少ない状態が続く見込みのため、発病が拡大すると予想されます。

水稻の葉色は品種を問わず濃い傾向です。いもち病に感染しやすい状況ですので、ほ場を確認してください。いもち病の常発ほ場や前年度にいもち病が発生した地域では特に注意しましょう。

いもち病防除について

1 葉いもち緊急防除

葉いもちの発生が見られる場合、直ちに茎葉散布を行う。

2 穂いもち防除

(1) 粒剤による水面施用で行う場合

- 葉いもちの発生がすでに確認された場合は、茎葉散布を実施してから予防粒剤を施用する。
- 葉いもちがなく、穂いもち予防を実施する場合は、出穂期 20 日前までに予防粒剤を施用する。

(2) 茎葉散布で行う場合

「出穂直前」、「穂揃期」の2回を基本とする。

(3) 葉いもちの発生が多い場合や降雨が連続する天候不順の場合

「穂揃い 10 日後」に茎葉散布による防除を実施する。

お問合せ	上越農業普及指導センター	作物担当	TEL : 025-526-9406
	J A えちご上越	本店 農業対策課	TEL : 025-527-2050
		わかば営農センター	TEL : 025-599-2028
		頸北営農センター	TEL : 025-530-3000
		上越営農センター	TEL : 025-523-5075
		頸南営農センター	TEL : 0255-78-2475